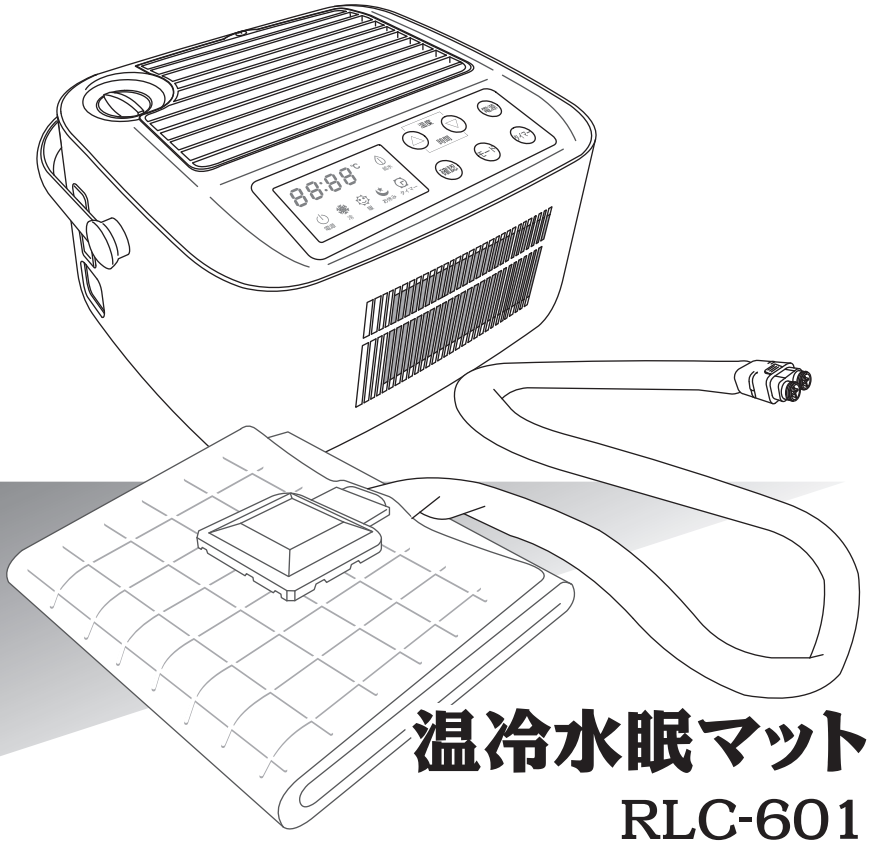
RELICIA



温冷水眠マット

RLC-601

取扱説明書

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。
※巻末に製品保証書が添付されています。大切に保管しておいてください。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

このたびは、RELICIA 温冷水眠マットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は加熱／冷却システムにペルチェ素子を採用した、お身体と環境にやさしい温冷マットです。
この RELICIA 温冷水眠マットは快適な生活のための新しい発想の電化製品です。マット内に流れる水を冷やしたり、暖めたりすることでおやすみ時の体感温度を調節するもので、部屋全体の温度を変えることなく快適な温度でお休みいただけます。また、エアコンやホットカーペットのように大きな電力を使わず、石油暖房のように換気の心配もございません。

この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。
本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

目　次

1．安全上のご注意…… 1

2．ご使用になる前に
2－1．内容物の確認…… 3
2－2．各部名称…… 4
2－3．本製品の仕組み…… 5

3．はじめてご使用になるとき…… 6

4．使用方法
4－1．設置…… 8
4－2．操作パネル…… 9
4－3．運転方法…… 9

5．メンテナンス
5－1．排水するには…… 13
5－2．コントロールユニット水タンク内の清掃…… 14
5－3．フィルターの清掃…… 14
5－4．その他のメンテナンス…… 15

6．故障かな？と思ったら…… 16

7．仕様表…… 16

8．アフターサービスについて…… 17

製品保証書…… 巻末

1 安全上のご注意

最初にご使用になる場合は、必ず本取扱説明書の「3．はじめてご使用になるとき（6ページ）」の説明をお読みになり、手順に従って操作を行ってください。

本製品の使用に際しては、下記の点にご注意ください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。

●本製品を分解・改造しないでください。
●本製品は、定められた電源（AC100V　50/60Hz）を用いて使用してください。
●本製品が正しく動作しない場合や、本体が破損・変形・異臭を発する・発煙などした場合はただちに使用を中止してください。
●コントロールユニットやコードの上に物を載せたり、無理な力のかかる環境でご使用にならないでください。また、コードを無理に折り曲げたり、切断・加工を行わないでください。
●本製品に水をかけたり、水中に沈めないでください。水に濡れる可能性のある場所や、湿度が高すぎる場所で使用しないでください。
●本製品の中に異物や薬品等を入れないでください。水タンクに水以外ものを入れないでください。（お湯やミネラルウォーター、氷等の固形物を入れず、常温の水道水を使用してください。）
●本製品に強い衝撃を与えたり、落下させないでください。
●冷／暖運転の切り替えは、30分程度電源をオフにしてから行ってください。半導体に負荷がかかり、故障の原因となります。
●本製品を使用中、体調に異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。また、健康上問題のある方がご使用になる場合、事前に医師に相談のうえご使用ください。
●使用前にマット、チューブ、コネクタに汚れや破損、機器の異常などがないことを確認してください。

※使用中、または使用前に異常を感知した場合はただちに電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

●設置環境について

○マットの上で飛び跳ねたり、鋭利なものや固く重量のある物を乗せないでください。マットやチューブが破損している場合は使用を中止してください。

○マットは平らなマットレスや布団の上に敷いてご使用ください。凹凸のある場所や折りたたんだ状態で使用すると故障の原因になります。

○チューブは折り曲げずにご使用ください。

○本体は製品の性質上放熱を行いますので、通風を遮らないよう、本体に布等を被せたり、本体の周囲30cm以内に遮蔽物を置かないでください。

○本体、マットは2か月に1回を目安に排水、清掃し、新しい水に入れ替えてください。

○チューブを接続しないまま本体の電源を入れないでください。

○コントロールユニットを移動させる場合は取っ手を持ち、水平を保ったまま持ち運んでください。電源コードやチューブを持って引きずらないでください。

●保管について

○保管する際は、必ず本体水タンクとマット内の水を抜き、キャップをしっかりと閉めてください。

○高温になる場所で保管しないでください。故障の原因となります。

○使用しない時や清掃の際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

○マット、チューブは洗濯機で洗濯しないでください。

●使用について

○小さなお子様やペットがいる部屋での使用は十分にご注意ください。また、小さなお子様やご自分で機器の操作ができない方のみでのご使用はおやめください。

○本製品は1人用です。2人以上でのご使用はおやめください。また、動物に使用するなど、本来の使用目的以外のご使用はおやめください。

○42℃以上で長時間使用すると低温やけどの恐れがありますのでご注意ください。

●結露について

○本製品の性質上、結露が発生する場合があります。結露した場合はマット及び本体を排水・清掃し、よく乾燥させてからご使用ください。結露したまま放置するとカビの発生原因となります。

○結露した場合、マットは陰干しで乾燥させてください。日光の当たる場所に干したり、乾燥機やドライヤーを使用すると変形、変質する恐れがあります。

※湿度の高い日に冷運転の設定温度を下げすぎると、コネクタ部分やチューブ・マットに結露が発生する場合があります。このような場合は設定温度を下げすぎずにご使用ください。(外気温よりマイナス 2℃～マイナス 3℃の温度設定が目安です。)

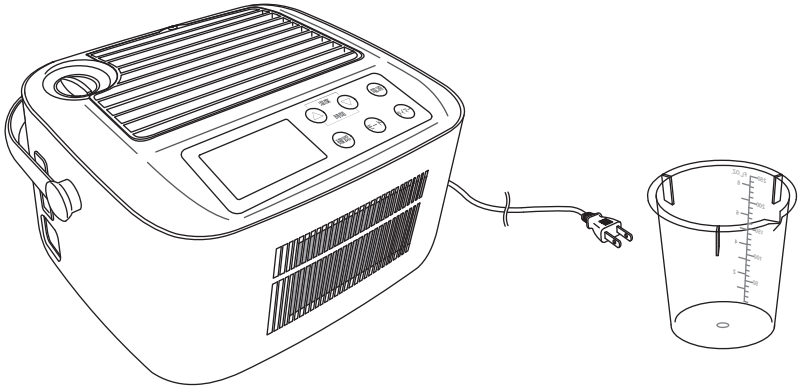
●水の交換について

○本体、マットは定期的に排水・清掃を行い、新しい水に入れ替えてください。水の交換の目安は2か月です。(清掃、水交換の手順は 13 ～ 14ページを参照してください。)

2 ご使用になる前に

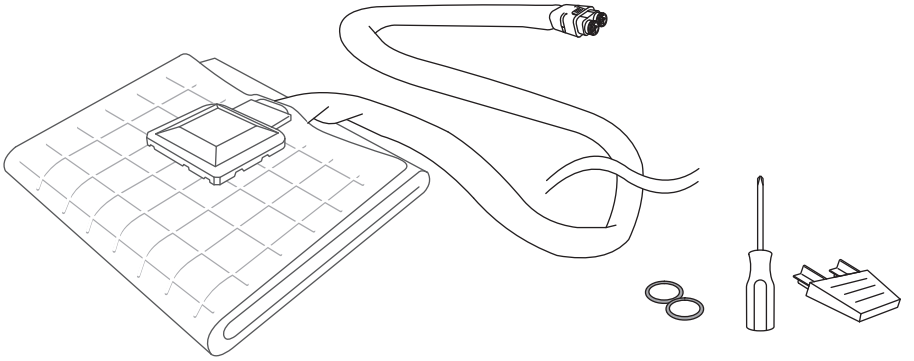
2−1．内容物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。
本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。



○コントロールユニット（１個）

○注水用カップ（１個）



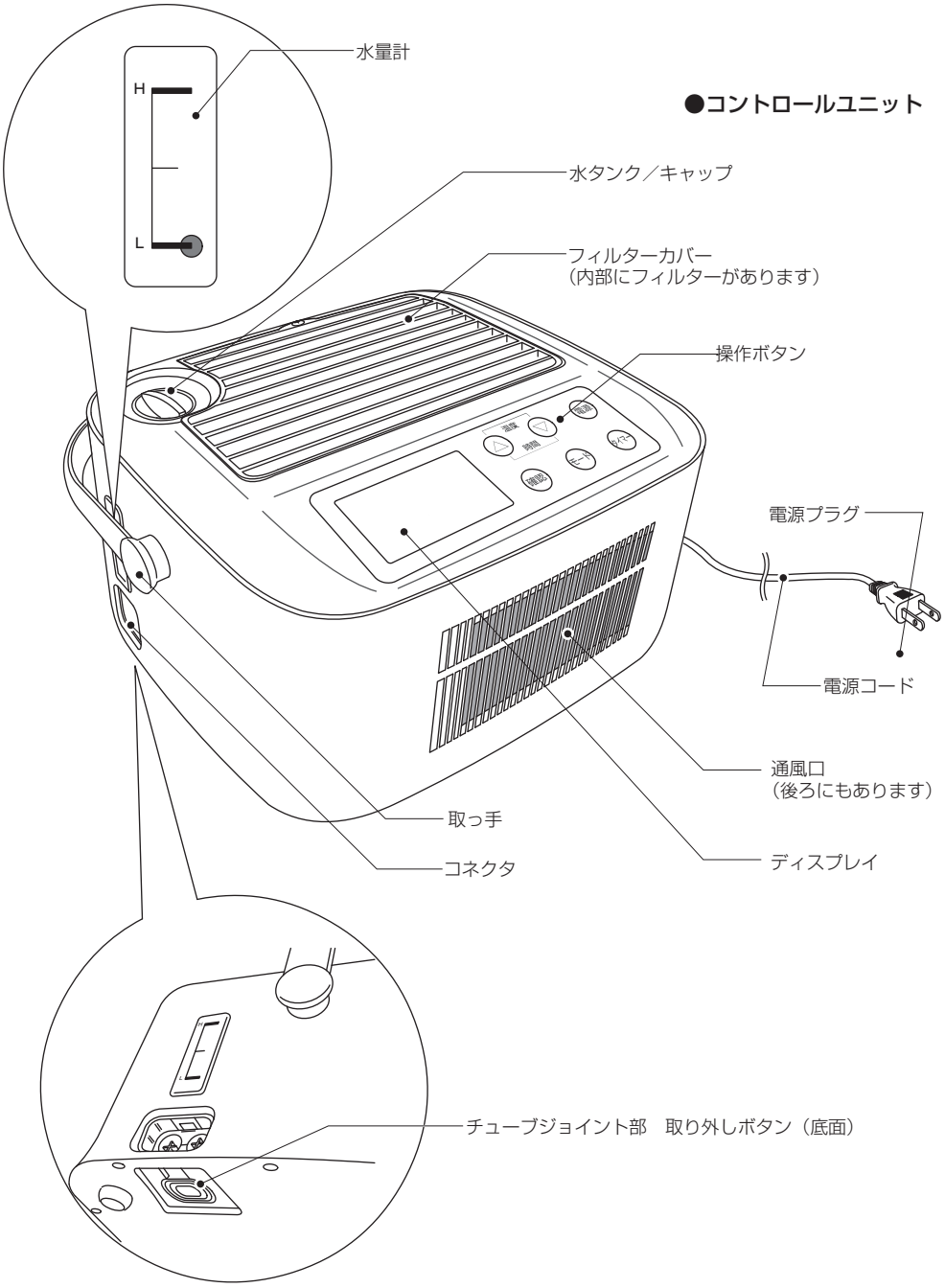
○マット（１個）

○ゴムパッキン（２個※予備用）
○ドライバー（１個※フィルターカバー用）
○水抜きキー（１個）

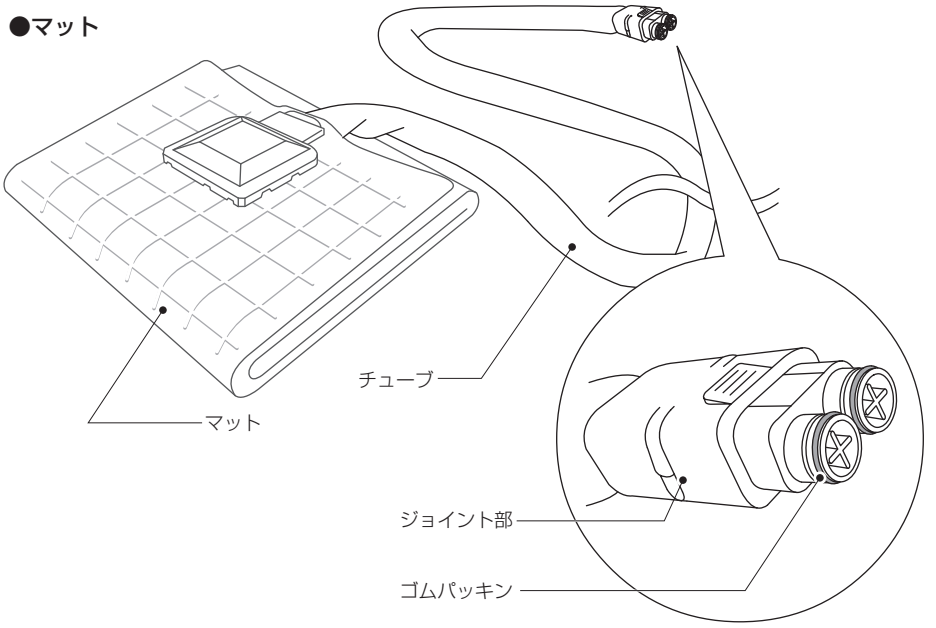
○製品保証書付き取扱説明書（本書）

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、ご購入店までお問い合せください。

2−2. 各部名称


水量計
H
L
●コントロールユニット
水タンク／キャップ
フィルターカバー
（内部にフィルターがあります）
操作ボタン
電源プラグ
電源コード
通風口
（後ろにもあります）
取っ手
コネクタ
ディスプレイ
チューブジョイント部　取り外しボタン（底面）

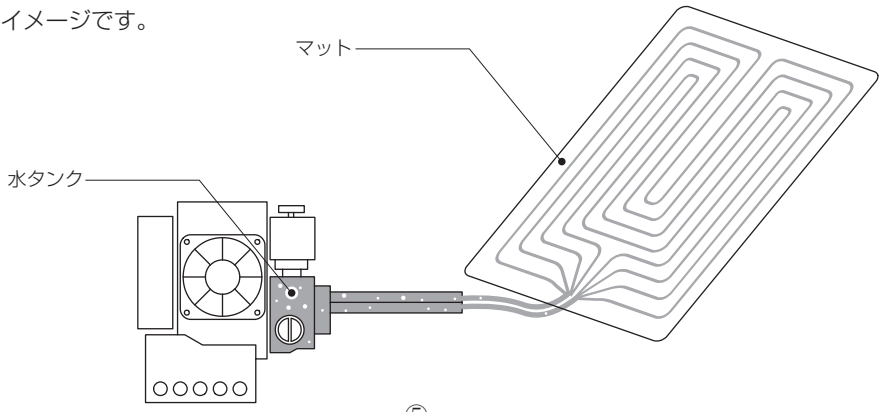
●マット



2−3. 本製品の仕組み

本製品は、コントロールユニット内で加熱／冷却された水がマット内を循環することにより、マット自体が加熱／冷却される仕組みになっています。
水の加熱／冷却にはペルチェ素子を採用しています。ペルチェ素子はサーモモジュールとも呼ばれ、電流を流すことにより金属板の一方の面が加熱され、もう一方の面が冷却されるという性質を持っています。エアコンなどに使用されるヒートポンプ方式とくらべて装置の小型化ができ、振動や騒音を発生させないというメリットがあります。

※図はイメージです。



3 はじめてご使用になるとき

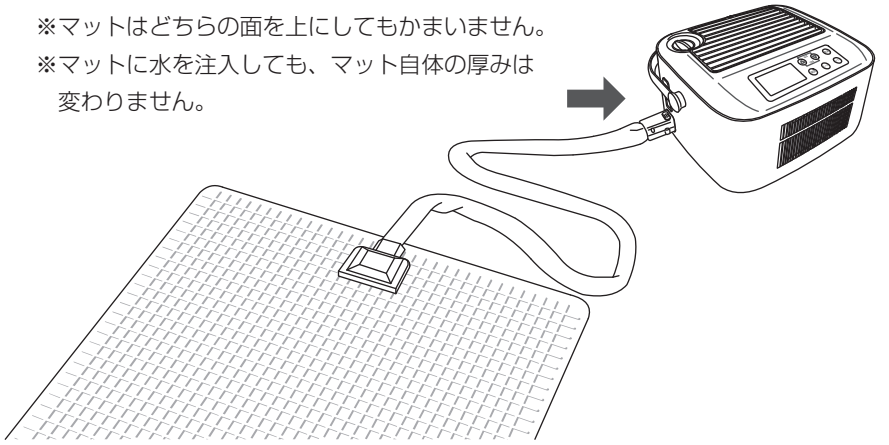
本製品を使用するには、まずコントロールユニットの水タンク、およびマット内に水を充填する必要があります。
下記の手順で水の充填を行ってください。

1 **マットを平らな場所に敷き、チューブをコントロールユニットのコネクタに接続します。**

※ジョイント部をしっかりと奥まで押し込んでください。接続がゆるいと、水が漏れるおそれがあります。

※マットはどちらの面を上にしてもかまいません。

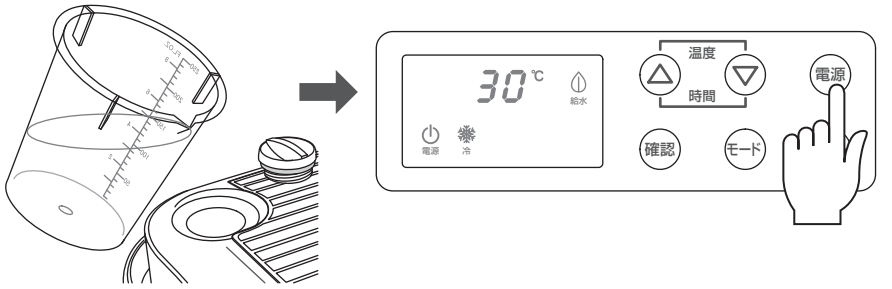
※マットに水を注入しても、マット自体の厚みは変わりません。



2 **水タンクのキャップを外し、水タンクへ 250ml 注水します。**
その後、電源プラグをコンセントに接続し、電源スイッチを押して電源を ON にします。

※冷／暖どちらのモードでもかまいません。また、温度設定等の操作はここでは必要ありません。

※電源を ON にした際に表示される温度は外気温になります。

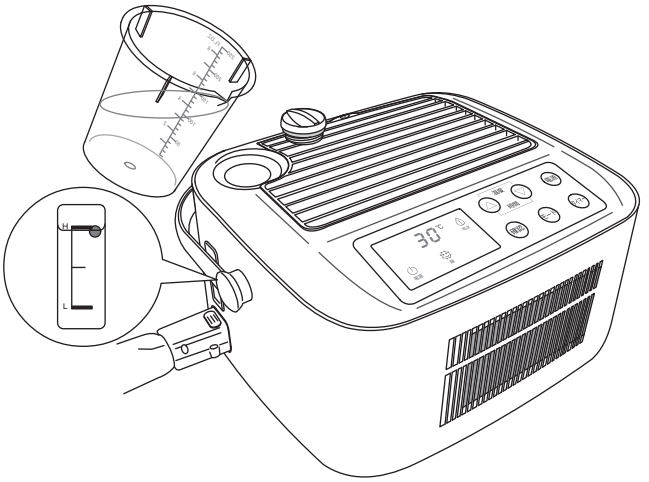


3 **水量計を見ながら水を注ぎ入れます。**

※水量計を見ながら、「H」の位置まで水を注ぎ入れます。タンク内の水がマットへ流れるため、徐々に水位が下がっていきますので、再度「H」の位置まで水を注ぎ入れます。これを4～5回繰り返すと水位が安定します。

※水位が安定するまで、20～30分かかります。水が漏れるおそれがありますので、水位が「H」を超えないようにご注意ください。

※マットへ入る水量は約1リットルです。



4 **水位が「H」で安定したことを確認し、キャップを閉めます。**

※キャップはしっかりと閉めてください。閉め方がゆるいと、水があふれ出るおそれがあります。運転停止中も含め、タンク、およびマットの中に水が入っている間は、キャップは外さないでください。

※このまま運転を続けて行わない場合は、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから外します。

※水が充填された状態で、チューブをコントロールユニットから外す場合は、コントロールユニット底面のジョイント部取り外しボタンを押しながら素早くジョイント部を抜いてください（12ページ参照）。

※ジョイント部の抜き差しを行う場合、水がこぼれるおそれがありますので、事前にタオルなどを用意しジョイント部の下に敷いておいてください。

コントロールユニット、マット内の水は2か月ごとに入れ替えてください（排水、清掃の方法は13～14ページを参照）。

4 使用方法

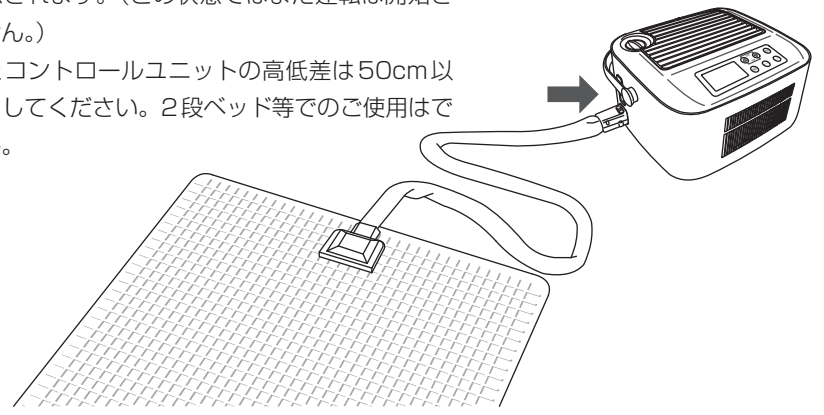
4−1. 設置

●マットの設置

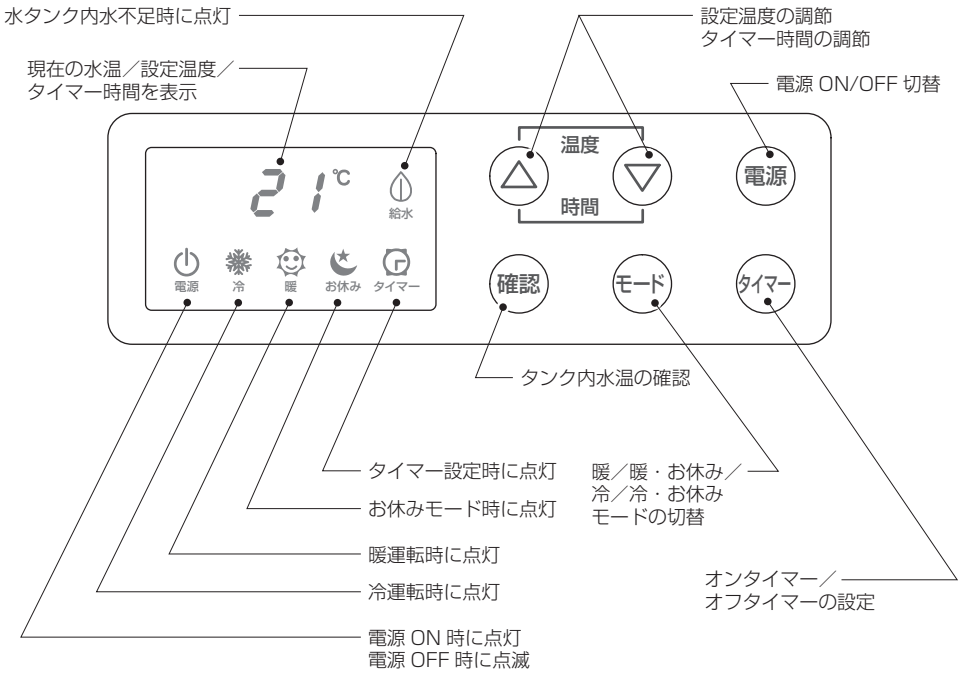
マットは平らなベッドや布団の上に敷いてください。凹凸のある場所、マットを折りたたんでのご使用は避けてください。
マットはどちらの面を上にして敷いてもかまいません。
チューブ側のほうがより早く、暖運転時は暖かく、冷運転時は冷たくなりますので、季節やお好みにあわせてマットの向きを変えてください。
マットはそのままでも、上にシーツや薄いタオルケットなどをかけてもご使用いただけます。
（厚手のものをかけて使用すると、十分な効果が得られない場合がありますのでご注意ください。）
※マットは汚れた場合、水洗いが可能です。中性洗剤を固くしぼった布でふき取ってください。
　ただし、洗濯機やたわし等のご使用はおやめください。
※マットの上で飛び跳ねたり、鋭利なものや固く重量のある物を乗せないでください。

●コントロールユニットの設置

コントロールユニットは転倒や落下の危険のない、平らで安定した場所に設置してください。
コネクタとジョイント部をしっかりと接続します。（接続している場合はしっかり接続されているか確認してください。）
チューブを水流が妨げられるほど折り曲げたり、上に物を載せないようにしてください。
その後、電源プラグをコンセントに接続します。
ディスプレイに電源アイコンが点滅し、水タンク内の水温が表示されます。（この状態ではまだ運転は開始されていません。）
※マットとコントロールユニットの高低差は50cm以内までにしてください。2段ベッド等でのご使用はできません。

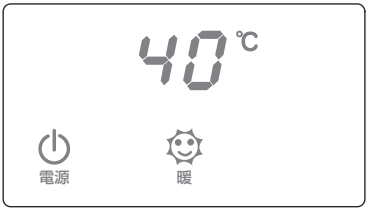


4−2. 操作パネル



4−3. 運転方法

●暖運転



電 源 ボタンを押し、ディスプレイに「暖」アイコンが点灯するまで モード ボタンを押します。電源ボタンを押した時点で「暖」アイコンが点灯していた場合は モード ボタンは押しません。（電源ON時、前回終了時の設定で起動します。）

ご希望の設定温度を ▲ ▼ ボタンで調節します。

設定中の温度はディスプレイに点滅表示されます。しばらくすると設定温度が確定し、現在温度の表示に戻ります。

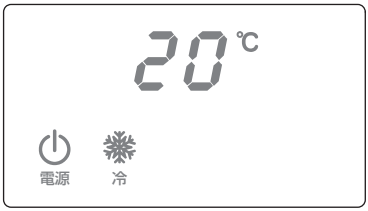
※暖運転時、温度の設定範囲は24℃～ 45℃です。ただし、実際のマットの温度は「外気温プラス20℃」が上限値となります。

※42℃以上で長時間使用した場合、低温やけどを負う危険がありますのでご注意ください。

※運転開始から暖かさを体感できるまで約30分～ 1時間程度かかる場合があります。あらかじめマットに毛布などをかけておくと温度上昇が早くなります。

※設定後、運転中にしばらくボタン操作を行わないと、ディスプレイの表示が消えます（運転は継続されています）。 確 認 ボタンをおすと表示が復帰します。

●冷運転



電源 ボタンを押し、ディスプレイに「冷」アイコンが点灯するまで モード ボタンを押します。電源ボタンを押した時点で「冷」アイコンが点灯していた場合は モード ボタンは押しません。（電源ON時、前回終了時の設定で起動します。）

ご希望の設定温度を ▲ ▼ ボタンで調節します。設定中の温度はディスプレイに点滅表示されます。

しばらくすると設定温度が確定し、現在温度の表示に戻ります。

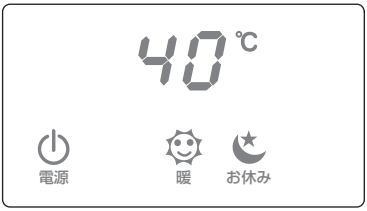
※冷運転時、温度の設定範囲は18℃～ 30℃です。ただし、実際のマットの温度は「外気温マイナス5℃」が下限値となります。

※結露を避けるため、外気温よりマイナス2℃～マイナス3℃の設定温度でご使用ください。

※運転開始から冷たさを体感できるまで約1～2時間程度かかる場合があります。

※設定後、しばらくボタン操作を行わないで放置するか 確認 ボタンを押すと、ディスプレイに現在の水温が表示されます。さらに時間が経過するとディスプレイ表示がオフになります。ボタンを操作すると復帰します。

●お休みモードについて



冷運転、暖運転時に モード ボタンを一回押すと「お休みモード」になり、ディスプレイに冷暖いずれかのアイコンとともに「お休み」アイコンが表示されます。就寝時、過度に体を冷やさない（または熱くなりすぎない）よう、運転一時間後に冷運転時には設定温度プラス1℃、暖運転時には設定温度マイナス1℃の状態をキープする運転モードです。

●冷／暖運転の切替について

本製品の性質上、冷／暖運転を頻繁に切り替えると回路に負担がかかり、故障の原因となります。冷／暖運転の切替は30分程度電源をOFFにし、間隔を空けてから行ってください。

運転に関するご注意

※コントロールパネルに表示される温度は本体とマットを流れる水の温度で、マット表面温度ではありません。

※水を設定温度にするため、動作中はファンのモーター音が発生します。気になる方はコントロールユニットを離れた場所に設置してください。

※運転中に 電 源 ボタンを押すと、冷却ユニットの保護のためにしばらくファンが回った状態で運転を続けた後、運転が停止します。故障ではありませんのでご安心ください。

※電源コードを抜いた直後は、ディスプレイの表示はすぐには消えません。また、完全に消える前に若干表示がちらつくことがありますが、故障ではありません。

※電源OFF時に水タンクのキャップは絶対に開けないでください。水があふれ出ます。また、マットとコントロールユニット内に水が入っている際にキャップを開ける時は、マットのジョイント部を外してから開けてください。

●オンタイマー

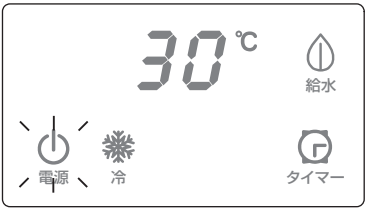
運転を開始する時間をタイマーで設定しておくことができます。

①電源OFF時、 タイマー ボタンを押します。

②ディスプレイに運転開始までの時間が点滅表示されますので、 ▲ ▼ ボタンで調節します。30分刻みで最大24時間まで設定できます。

③ モード ボタンを押し、運転モードを選択します。タイマー時間の表示から温度設定の表示に切り替わります。

④ ▲ ▼ ボタンで設定温度を調節します。(タイマー時間が点滅表示している間は設定温度の調節はできません。)



オンタイマー設定後、ディスプレイには運転開始までの残り時間が表示されます。オンタイマーを再設定するには、 タイマー ボタンを押し、①～②の手順を行います。

※運転モード、設定温度の変更はオンタイマー有効時いつでも行えます。

オンタイマーを解除するには、 タイマー ボタンを押してタイマー時間が点滅している間に、もう一度 タイマー ボタンを押します。

また、 電 源 ボタンを押して運転を開始してもオンタイマーは解除されます。

●オフタイマー

運転を停止する時間をタイマーで設定しておくことができます。

①電源ON時、 タイマー ボタンを押します。
②ディスプレイに運転停止までの時間が点滅表示されますので、 ▲ ▼ ボタンで調節します。30分刻みで最大24時間まで設定できます。

オフタイマー設定後、ディスプレイにはタイマーアイコンが点灯し、現在の水温の表示に切り替わります。オフタイマーの時間を確認したい場合は タイマー ボタンを押します。
オフタイマーを再設定するには、①からの手順を行います。
オフタイマーを解除するには、 タイマー ボタンを押してタイマー時間が点滅している間に、もう一度 タイマー ボタンを押します。
また、 電 源 ボタンを押して運転を開始してもオフタイマーは解除されます。

※電源オフの状態に入ると、ディスプレイに水温が表示され、電源アイコンが点滅表示されます。

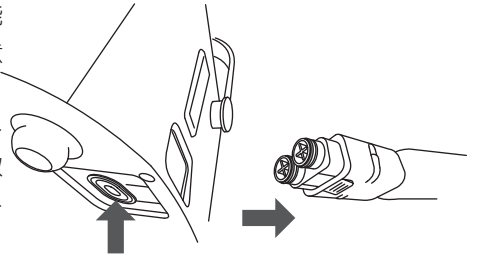
5 メンテナンス

2か月に１度を目安にコントロールユニット、マット内の水を交換してください。
５－１～２の説明の手順に従って、排水、タンク内清掃を行った後、「はじめてご使用になるとき（6ページ）」の手順で給水を行ってください。また、コントロールユニット本体やフィルター、およびマット表面の清掃も定期的に行ってください。

5−1．排水するには

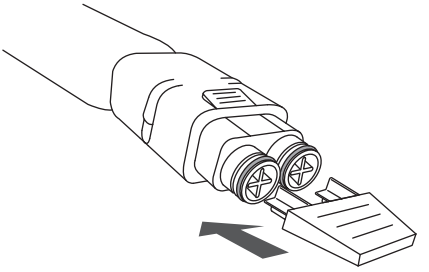
●チューブの取り外し

チューブの抜き差し時には水漏れする可能性がありますので、事前にタオルをご用意ください。
電源プラグをコンセントから外し、コントロールユニット底面にある「ジョイント取り外しボタン」を押しながら、ジョイントを速やかにコネクタから引き抜きます。



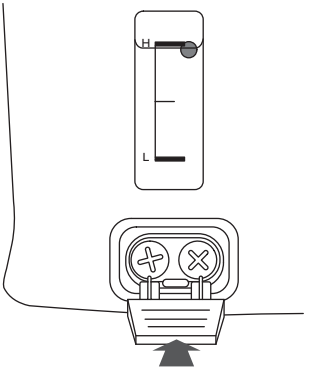
●マットの排水

排水は浴室等で行うか、事前にバケツ等の水受けをご用意ください。
マットを物干し竿のようなものにかけます。
ジョイント部の先端部分にある「+」字状の突起に、水抜きキーの突起を押し当てるとマット内の水を排水することができます。
※このとき、ジョイント部先端のゴムパッキンが外れていないか、破損していないか確認し、必要に応じて交換してください。パッキンの無い状態でご使用になると水漏れをおこします。



●コントロールユニット内 水タンクの排水

水タンクキャップを外し、コントロールユニットを若干傾けながら、コネクタ部分にある「+」字状の突起に、水抜きキーの突起を押し当てると排水することができます。



5−2. コントロールユニット水タンク内の清掃

排水後、水の再充填を行う前に水タンク内の清掃を下記の手順で行います。

①6ページの手順でコントロールユニットとマットを接続します。
水タンクへ250ml注水し、電源をONにします。

②水量計を見ながら「H」の水位まで水を注ぎ入れます。タンク内の水がマットへ流れるため、徐々に水位が下がっていきますので、再度「H」の位置まで水を注ぎ入れます。これを4～5回繰り返し、水位を安定させます。

③さらに数十分程度試運転し、水を循環させます。

④電源をOFFにし、電源プラグを抜いてから排水（13ページ参照）します。
その後、6ページの手順でコントロールユニット、マット内に水を再充填します。

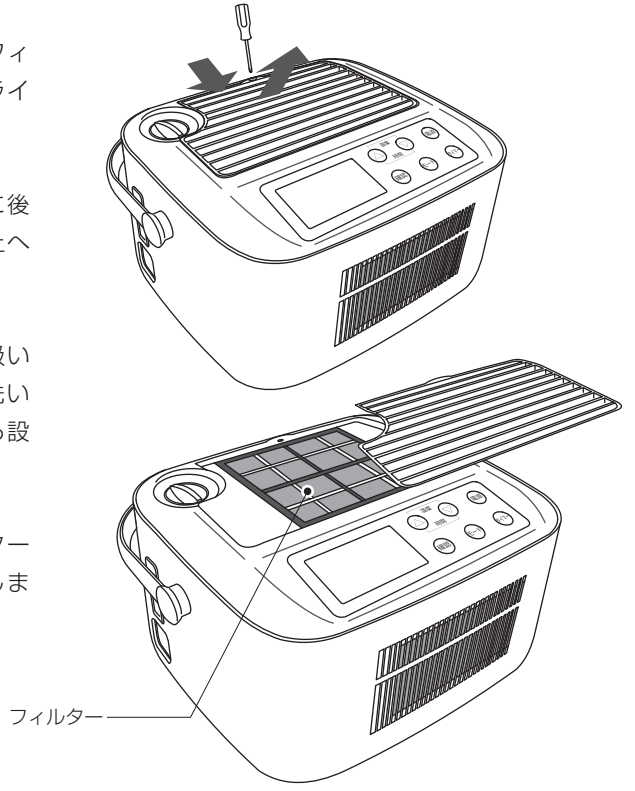
5−3. フィルターの清掃

コントロールユニット上面のフィルターカバーにあるネジをドライバーで外します。

フィルターカバーは図のように後部から手前へ押しつけながら上へ持ち上げると外れます。

フィルターの汚れは掃除機で吸い取るか、水洗いをします。水洗いした場合はよく乾燥させてから設置してください。

フィルターを設置後、フィルターカバーを元に戻し、ネジ止めします。



5−4. その他のメンテナンス

コントロールユニット本体部分の汚れはよく絞った布で拭きとってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を使って拭き取り、その後よく絞った布で水拭きしてください。（吸気口や排気口から本体内部に洗剤や水が入らないようにご注意ください。）
吸気口／排気口の埃は掃除機で吸い取ってください。

マット表面は水拭き、もしくは水洗いしてください。中性洗剤などを使うこともできますが、洗剤によっては材質を変質・腐食させるおそれがあるためご注意ください。
マットは洗濯機では絶対に洗わないでください。その他、破損のおそれがある方法で清掃をしないでください。
マットは陰干しして乾燥させてください。日光に干したり、乾燥機やドライヤーは使用しないでください。

●長時間使用しない場合は

電源プラグをコンセントから抜き、コントロールユニット、マットから排水を行います。**排水後は水タンクキャップをしっかりと閉めてください。**
水タンク内、フィルター、本体、マットの清掃を行い、十分に乾燥させ、本体にビニール袋等を掛けて保管してください。
保管の際には、高温になる場所や湿気、埃の多い場所を避けてください。

●故障の場合は

修理の必要が生じた場合や、紛失などによる部品交換の必要が生じた場合には、本書巻末にある製品保証書に必要事項を記入し、販売店または販売元までご連絡ください。
保証期間が過ぎている場合や、保証規定によらない故障、部品紛失の場合はお客様のご希望により有償修理となります。

●廃棄する場合は

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の定める方法に従って廃棄してください。

6 故障かな?と思ったら

状　態	考えられる原因	処　置
電源スイッチを押しても運転が開始されない	電源に接続されていない	プラグをコンセントに差し込みます。
運転しているがマットが暖まらない／冷えない	外気温が高い／低い	実際のマットの温度は暖房時:外気温プラス20℃、冷運転時:外気温マイナス5℃が限界値になります。
コントロールユニットが熱くなっている	通気口／フィルターカバーがふさがれている	周囲30cm以内に遮蔽物が無いよう、コントロールユニットの設置場所を変えます。
運転音が大きすぎる	安定した場所に設置されていない	平らで安定した場所に設置します。
エラーメッセージ(E1～E3)が表示される	E1:水温センサーの故障 E2:ヒートシンクの故障 E3:水タンクの水不足	電源プラグをコンセントから抜き、再度起動させます。もう一度同じエラーメッセージが出た場合はサポートセンターへ御連絡ください。
ジョイント部から水漏れする	ゴムパッキンが破損／汚損／欠品している	予備のゴムパッキンと交換してください

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。
該当する項目がない場合、または対策を試しても直らない場合は、販売店にご相談ください。

7 仕様表

電　源	AC100V（50/60Hz）
冷運転時消費電力	185W ／ 0.9A
暖運転時消費電力	195W ／ 0.95A
動　作　音	40dB以下
温度設定範囲	18～45℃
外形寸法	コントロールユニット：約310×260×135mm マット：約700 x 1600mm
重　量	コントロールユニット：約3.6kg マット：約1.5kg

8 アフターサービスについて

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より１年間です。

②修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせて頂きます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にお問い合せください。

③アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、お買上げ販売店、または下記サポートセンターまでお問い合わせください。

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内

サポートセンター
電　話　番　号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00
（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）

製品保証書

持込修理

〈保証規定〉

このたびは、RELICIA温冷水眠マットをご購入頂きありがとうございます。当社では優れた品質のアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

①ご購入日から１年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で修理、または新品と交換いたします。

②保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。

※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。

※本書の提示がない場合。

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

③本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買上げの販売店へお申し出ください。

●太枠線内はご購入後、お客様自身がご記入ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品名	温冷水眠マット　RLC-601
保証期間（お買い上げ日より）	1年間
お買い上げ日	年　月　日

お客様

フリガナ

お名前　　様

ご住所　〒　－

電話番号（　　）　－

取扱販売店名・住所・電話番号

販売元　株式会社TOHO

TOHOサポートセンター　〒349-0215 埼玉県白岡市千駄野755

Tel.03-6803-0191　受付時間：月～金　10:00～12:00　13:00～17:00
※土日、祝祭日はお休みを頂いております。